

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	52.3%	自校A B層の割合	42.7%

目標達成に向けた取組					
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障		学習習慣の確立	
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> UDの視点から、授業中の学習過程を可視化する。 授業の導入で、前単元や前時の学習内容を想起する。 各教科等の各単元で問題解決型の学習を計画し実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 週に1度の朝のモジュール学習で、確実に「ドリルパーク」に取り組む。内容は、国語と算数について隔週で取り組むこととする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学年×10分」の家庭学習の実施を、保護者へも周知・依頼する。 えどダブルールの周知・徹底を図り、特に、家庭ルールについて毎学期末に児童自身の振り返りを行う。 5月実施の睡眠振り返り週間、学期始め実施の生活振り返り週間を活用して、規則正しい生活習慣の定着を図る。 		
		A層			<ul style="list-style-type: none"> 当該学年の学習内容、または、発展的な学習内容に取り組む。
		C層			<ul style="list-style-type: none"> 学年を1つ下げるなど、習熟度に合わせた課題に取り組む。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 「個人のめあて」を設定して、それに対して振り返りをする。 紙媒体やタブレット端末等、学び方の選択肢を用意して児童が選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部委託業者の行う放課後補習教室と連携して、学級担任は学級補習に取り組み、学習支援の充実を図る。 CDTテスト等の結果分析を基に「ドリルパーク」で苦手分野の課題を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ドリルパーク」の課題配布機能を用いて、取り組む課題を指定する。 		
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 都の学力向上調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」の肯定的な回答80%以上 学校評価児童アンケート「授業の内容がだいたい分かりますか。」の肯定的な回答90%以上 		ワークテスト知識・技能の得点率	東京ベータックドリル診断テスト	<ul style="list-style-type: none"> 都の学力向上調査「授業時間以外の勉強時間」 →6年児童1時間以上の回答割合80%以上達成 →4、5年児童、30分以上の回答割合80%以上達成 ・学期始めの健康振り返りチェックシート「家庭で学習する（宿題）」の肯定的な回答90%以上
		A層	当該学年正答率8割達成	1学年下正答率8割達成	
		C層	当該学年正答率7割達成	1・2学年下の正答率7割達成	
		D層	当該学年正答率5割達成	1・2学年下の正答率5割達成	